マニュアルに従って行われた授粉作業

幸水の販売額5億円突破

授粉作業体系化が奏功

県内有数のナシの産地を有するJAは、2021年産「幸水」の販売額が前年比約55％（約1億8千万円）増の約5億1千万円だったことを明らかにしました。早生の主力品種である幸水が5億円を超えたのは初めて。天候不順に伴う全国的な収量不足が単価を押し上げた中、JAは授粉作業のマニュアル化を図り、安定した着花数を確保。また、JAの販売担当者が、市場担当者らとの情報交換を緻密にしながら、出荷状況を把握し続けたことなどが成功し、最高の販売額につながりました。

本県は全国有数のナシの産地で、JA管内とJAはが野が大規模産地として知られています。JAによると、過去の幸水の最高販売額は18年産の4億4千万円。21年産幸水は、全国的に4月の低温による収量不足傾向になりました。梨専門部は、県河内農業振興事務所と作成したマニュアル「なしの人工授粉ハンドブック」で被害を抑制しました。

部員の授粉作業のアンケートを基にしたマニュアルは、省力的で効果的な授粉方法を体系化し、これまでは農家の経験や勘に頼っていた授粉作業を抜本的に改善しました。その結果、低温被害を受けた後も多くの実をならせることに成功。収量が前年比約30％（約230トン）増の約1000トンになりました。

梨専門部の相場照久専門部長は「授粉作業をマニュアル化することにより、低温被害の影響も抑えられている。最後の品種にっこりまでしっかりと出荷していきたい」と話しています。

特集

JAうつのみや「金融」「共済」事業のご紹介

金融事業　農業融資商品のご案内

農業近代化資金　～保証料助成事業～

JAうつのみやでは農業者の皆さまの規模拡大、生産拡大を応援するため、農業近代化資金の借入にかかる保証料の全額助成をいたします。借入負担を軽減し、さらなる経営の発展を支援いたします。

①**農業近代化資金**とは、農業者の方がご利用可能な制度資金です。認定農業者の場合は、国（農林水産長期金融協会）や県の利子補給等により、借入期間によって**金利負担ゼロ**となります（一部例外あり）。
②県の利子補給、市町の利子補給後においても貸付金利が発生する場合は、JAバンク利子補給により借入当初最長5年間は金利負担ゼロとなります。
③資金実行には相応の時間がかかりますので、早めの相談をお願いいたします。

事業名	内容	対象者等	実施（取扱）期間
農業近代化資金の保証料助成事業	農業近代化資金の借入にかかる保証料の全額助成。	対象者／認定農業者、認定新規農業者、農業者（個人・法人・集落営農組織等）等	2021年4月1日～2022年3月31日

その他農業融資商品について　～JAバンク利子補給制度～

JAバンク利子補給制度は、農業経営をバックアップするために、利子の一部を助成するものです。

JA農機ハウスローン

農機具の購入やパイプハウス、格納庫等への建設資金に対応できる商品です。

JA新規就農応援資金

新規就農者の就農定着の支援を目的とし、農業経営に関する設備・運転資金に対応できます。就農開始5年目までの方が対象となります。

事業名	資金使途	対象者等	実施（取扱）期間
JA農機ハウスローン	・農機具に関する資金 ・パイプハウス等資材、建設資金 ・格納庫建設資金	組合員で安定した収入のある方	2021年9月1日～2022年2月28日
JA新規就農応援資金	農業経営に関する設備・運転資金	組合員または組合員となることが見込まれる、就農開始5年目までの方	2021年9月1日～2022年2月28日

◆店頭にて返済額の試算を承っております。◆審査により、ご希望に沿えない場合がございますので、ご了承願います。
住宅ローン等、各種ローンも取り扱っておりますので、お気軽にご相談ください。

共済事業のご案内

自動車共済にご加入の皆さまへ

JA共済

自動車共済に
安心の
示談交渉サービス付

損害賠償責任保障が新たに登場！

日常生活の思わぬトラブルで、大きな賠償責任を負うことがあります。
手軽な特約で、まさかに備えませんか？

お買い物で…
カートを子供にぶつけてしまい
ケガをさせてしまった…

自転車で…
歩行者とぶつかってしまい、相手は
意識不明の重体に…

スポーツで…
自分の打ったファールボールが
駐車場の車にあたり、損害を与えて
しまった…

交流で…
グランドゴルフ中に振り上げたクラブ
が友人の目に当たり、ケガをさせてしまった…

階段で…
足を踏み外し友人
に激突。後遺障害
を負わせた…

友達の家で…
遊びに行った子どもが
高価な置物を壊してしまった…

庭で…
老朽化した塀が崩壊し、隣家に損害を
与えてしまった…

家で…
洗濯機のホースが外れ、水漏れで階下
に損害を与えてしまった…

お散歩で…
シニアカーで他人にけがをさせてしまった…

JA共済 自動車共済に
日常生活賠償責任特約を

安心の
示談交渉
サービス付

ご付帯いただくと
自転車事故をはじめとする日常生活の
さまざまな損害賠償責任を保障します。

支払限度額
2億円

共済掛金（共済期間1年、一時払）
年1,890円
月払いの場合、月170円
（4人家族なら…1人当たり月約 43円）

“自転車保険・共済”の義務化が進んでいます。
ぜひ日常生活賠償責任特約のご加入をご検討ください。

義務化（22自治体）
宮城県、山形県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、
静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、愛媛県、
福岡県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

努力義務化（10自治体）
北海道、青森県、茨城県、千葉県、富山県、
和歌山県、鳥取県、徳島県、香川県、高知県

出典：国土交通省ホームページ（2021年4月1日現在）

この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては「重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。ご加入にあたりましては、お近くのJAへお問い合わせください。

【21090010202】

宇都宮駅ビル・パセオ「えきの市場」でブドウ直売　ぶどう専門部が消費宣伝活動

宇都宮産のブドウを手に取る買い物客

ぶどう専門部は8月27日、宇都宮駅ビル・パセオ「えきの市場」内JA農産物コーナーで、ブドウの直売を実施しました。管内産ブドウのおいしさをPRするために年に1度行っています。

8月に緊急事態宣言が県下に発令されたため、密を避けて生産者4人がブドウを持ち込みJA担当者2人が販売しました。例年好評だった試食は行わず、販売のみ。人気の高いシャインマスカットをはじめ市場であまり見かけられないビーケーなど8種類が店頭に並びました。田崎仁専門部長は「宇都宮産のブドウがあることを知ってほしい。今年も糖度が高く出来は上々」と自信をもって薦めました。買い物に訪れた客は、スーパーの半値に近い品種を手に取ったり、孫と食べるからと種なしを選んだりとさまざまでした。JA担当者は「試食できないのは残念だったが、珍しい品種も含め宇都宮産のブドウを広くPRできた」と話しました。

出荷に向けあきづき目ぞろえ会　梨専門部

梨専門部は9月2日、3日の2日間、清原・雀宮・河内・城山の4支部であきづき出荷目ぞろえ会を開きました。同専門部河内支部が3日に宇都宮市中岡本町のJA河内野菜集荷所で行った目ぞろえ会には、部員やJA職員、関係機関の担当者ら約20人が参加。2021年産あきづきの生育状況や、ナシの販売状況について報告が行われました。

目ぞろえを行う部員ら

戸泉勇作支部長は「他品種と同様に規格通りに出荷していきたい」とあいさつしました。担当者が出荷規格と収穫上の注意点を説明し、今後の管理として黒星病や汚果病など病害虫防除の徹底を呼び掛けました。また2021年産ナシの販売実績は順調で、幸水の販売額が初の5億円を突破したことが報告されました。

目ぞろえ会では現物を見ながら色や形の規格を確認し、出荷に備えました。

2021年産米収穫進む　JA役員らが米荷受施設巡回

施設巡回を行う役員ら

JAは9月16日、米荷受施設巡回を実施。JA管内のライスセンターやカントリーエレベーター7施設を役員ら4人が巡回し、2021年産米の収穫状況と品質を確認しました。

施設巡回はJA役員が米の品質状況や担当者の労務状況などを把握することが目的。各施設の担当者が施設の稼働状況や本年産米の状況について説明しました。

本年産米は天候不順や高温障害の影響で多少の乳白米が見られるものの、全体として品質は良好。担当者は刈り遅れによる品質低下を防ぐため、適期に収穫するよう生産者に呼び掛けました。各施設は8月26日～10月下旬まで稼働予定。

JAの横松久夫組合長は「昨年はカメムシによる被害が大きかったが、今年は早めの防除などの施策を講じ、良い品質になった。おいしい栃木県産米を届けていきたい」と期待を込めました。

JA一丸でSDGsの活動貢献　女性組織・青壮年部合同によるペットボトルキャップ回収運動

回収したペットボトルキャップを前に所会長（左）と黒﨑部長

JAは8月17日、女性組織と青壮年部が合同でペットボトルキャップの回収運動に取り組みました。JAは自己改革の取り組みとして「SDGsへの貢献」を掲げており、両組織合同の活動は初の試みです。

女性組織と青壮年部はそれぞれ、春から自宅にためておいたペットボトルキャップを取りまとめ、最寄りの営農経済センターに持ち込みました。この日JA職員が手分けして3台の車で管内の営農経済センターを経由・回収し、上河内営農経済センターに集結。総量約350㌔のペットボトルキャップを回収しました。ポリオワクチンであれば約175本分に相当します。女性組織みどり会の所洋子会長は「会員に手軽にやってもらえ、貧しい子どもたちの助けになる」、青壮年部黒﨑浩史部長も「無理なくでき、数こそ集めればワクチンになる」と協力態勢を示しています。

この活動は継続して行い、11月と来年2月にも予定しています。

彼岸に向け、良質なユリを　球根切花専門部が目ぞろえ会

東部選果場花き集荷場で行われたユリの目ぞろえ会

球根切花専門部は9月7日、ユリの目ぞろえ会を宇都宮市上籠谷町の東部選果場花き集荷場で開催しました。部員はじめ県や市場、JAの担当者11人が参加しました。須藤智司専門部長は「コロナ禍による緊急事態宣言が発令中で大変な状況になっている。品質を確認・統一して秋の彼岸に向けて良質のユリを出荷するようにしていこう」とあいさつしました。目ぞろえ会では、須藤専門部長らが梱包された1束、1束を丁寧に掲げ、参加者全員でつぼみの状態などを確認していきました。

JAの担当者が、2021年9月の出荷予定本数は約5万2千本で前年比148％になることを報告し「これからも計画的な出荷を心掛け、安定した供給をお願いしたい」と呼び掛けました。市場担当者は「8月は天候不順が続いた。病害虫の発生も要注意なので、防除をしっかりしてほしい」と総括しました。

生活困窮者に米贈呈　JAが済生会宇都宮病院に

野間院長（左）に目録を手渡す見形常務

JAとちぎ農業ネットワーク企業組合は9月14日、宇都宮市竹林町の済生会宇都宮病院を訪れ、真空パック米（300㌘）942個を贈呈しました。社会福祉法人である済生会宇都宮病院は、医療に恵まれない人々のために無料低額診療、生活困窮者支援事業、性暴力救済センター、病児保育事業などの福祉活動にも力を入れています。

贈呈に先立ち、JAの見形繁常務は「地域で生活に困っている人に分けていただき、新型コロナウイルスの感染拡大の中で消費が縮小している米の消費拡大につなげていきたい」とあいさつしました。

目録を受け取った野間重孝病院長は「当済生会の創立の理念に生活困窮者支援がある。生活に困っている1人でも多くの人に届けたい」と謝辞を述べました。

秋植えの野菜苗を購入する
組合員の皆さん

組合員

上三川育苗センターで
秋植え自家用野菜苗を販売（9月4日～5日）

**予約制で、レタス・ブロッコリー・
白菜・キャベツの苗を販売しました。
両日合わせて主に上三川管内から
500人もの組合員が購入に訪れました。**

JA

新入職員が農業研修でイチゴの定植を体験

**JAは9月13日から14日の2日間、
宇都宮市中里町のJAアグリうつのみやの圃場（ほじょう）で
新入職員農業研修を行い、令和3年度新入職員
26人が2日間に分かれて参加しました。**

イチゴの苗を定植する新入職員

調理をする浅川支部長（右）ら

女性組織

女性組織が子ども食堂にあたたかい料理（9月27日）

**みどり会清原支部は宇都宮市戸祭4丁目の
昭和こども食堂で、女性組織として今年度
2回目の調理ボランティアを行いました。
浅川京子支部長ら2人が参加し、
2時間で約20人分の料理を作りました。
肉じゃがは食材を炒めてからすき焼きのタレで
味付けして煮込むなど、時短調理の工夫を
凝らしました。調理を終えた浅川支部長は
「みんなが好きそうなメニューを考えて作った」
と話しました。**

ちらし寿司、肉じゃが、野菜サラダ、
豆腐とわかめのみそ汁

JA

「みんなのよい食プロジェクト2021」PR（9月29日）

**JAグリーンインターパークなど4直売所で
「3食ごはんの日」を推奨するため、
POP、のぼり旗を掲示し、
購入者には「笑味ちゃんマスク」を配布しました。**

組合員の皆さまからの地域の話題や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。
※紙面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承願います。詳しくは総務課組合員広報係まで。

管内インフォメーション

地域の活動拠点に、ライスセンター完成　しのい夢ファーム

しのい夢ファームのライスセンターの竣工式

竣工式終了後に施設内を見学する参加者

農事組合法人しのい夢ファームは9月5日、宇都宮市篠井町に建設を進めていたライスセンターの竣工式を行いました。同ファームの手塚秀一組合長、JAの横松久夫組合長はじめ関係者20人が出席し、完成を祝いました。同ファームは、効率的な農業の実践や農業所得の確保などを目的に、2015年1月設立。同市北部の篠井地区にある集落営農組合が母体となっており、高齢化などで農業の個人経営が困難さを増す中、地域の農家が結束して農地の借り受けや農業経営を行っています。ライスセンターは、鉄骨平屋で300平方㍍。竣工式は、神事で祝詞奏上、玉串拝礼などが行われました。手塚組合長は「篠井地区の活動拠点のライスセンターが完成した。農業情勢が厳しい中、特にコロナ禍で計画が1、2年遅れていれば、できなかったかもしれない。これからも地域を守り、後継者育成にも努めていきたい」とあいさつしました。横松組合長は「しのい夢ファームには、多くの飼料米転換に協力していただき感謝している。ライスセンターには、最新式の機械が導入されている。地域の農業の中核として活動してほしい」と祝辞を述べました。

岡本小がJA管内で校外学習　アスパラ収穫と農機具試乗体験

JA管内で活動している串内環境保全会は9月14日、宇都宮市立岡本小3年生50人の校外学習を受け入れました。同環境保全会の会員ら約15人が分散して児童の応対をしました。同環境保全会は多面的機能支払交付金という助成金を受け、事業を展開しています。3年生は河内地区の稲作農家について社会で学習するため、実体験を通して理解を深めるのが狙いです。この日はグリーンアスパラガスの収穫と農機の試乗を行いました。コメの収穫後に出たもみ殻と牛ふんを混ぜて作った牛ふんたい肥をアスパラの肥料として利用する耕畜連携の説明もありました。児童らは感染症防止対策を取り少人数に分かれて体験。アスパラを収穫した大谷知郁（8）さんは「冒険したかったのでハウスの奥まで行って採った」と満足そう。コンバインに試乗した市山森太郎君（8）は「すごく大きくて機能がいっぱいあった」と興奮気味に話しました。

2年ぶりの校外学習に、同環境保全会で事務局長を務めるJAの相良律子理事は「子どもたちとの触れ合いを毎年楽しみにしている。この体験を通して農業に興味をもってほしい」と期待を込めました。

アスパラガスを収穫する児童

少人数に分かれ各農機に試乗する児童ら

米の値段に左右されない米作りを　坪刈りで米の収量調査

1坪分のコシヒカリを刈る佐藤さん（左）

経営研究部豊郷支部は9月7日、宇都宮市内豊郷地区でコシヒカリの坪刈りを行いました。坪刈りは、円形坪刈り器で範囲を決めて1坪分の稲を手刈りし、乾燥・脱穀した後に10㌃あたりの収量を算出する年中行事の1つです。この日2カ所の圃場で3カ所ずつ行いました。1坪あたり60株で例年並み。同圃場は水回りが良く、米の食味が良いとの評判。12月に確定する収量が地域の他農家への指標となります。

豊郷地区の経営研究部は、年に1度の勉強会をはじめ日ごろから情報を交換し合い、ドローンなど新しい技術も取り入れています。折しも2021年産のコシヒカリの概算金の下落について報道があったばかり。圃場を提供した佐藤要（45）支部長は「若い担い手たちが昔からのことを受け継ぎながら、米の値段に左右されない米作りをしていかないといけない」と将来を見据えています。

営農情報

麦

雑草防除

播種後、速やかに全面土壌処理を行い、その後は雑草の発生状況により生育期処理を行いましょう。

また、近年カラスムギの発生が著しい圃場が見られます。収穫時に混入した場合、選別機で完全除去することは不可能です。生育中の発生に注意しましょう。

圃場に発生したカラスムギ

排水溝の確認

圃場周囲に設置した排水溝が、その機能を発揮できるよう定期的に点検を行い、必要に応じて溝さらい等を実施しましょう。

圃場周囲の排水溝

麦踏み

麦踏みは、地上部の過剰生育を抑制しながら、分げつを旺盛にし、根張りを深くするとともに、耐寒性を増大させる効果があります。

麦踏みは年内に1～2回、葉が3枚見えるころから実施します。年明以降は茎立期（3月上中旬）直前までに2回程度実施しましょう。

麦踏みの様子

国産麦のニーズ

近年、消費者の安全・安心志向の高まりや、地産地消の推進から、国産麦の製品が増加しており、国産麦に対するニーズが高くなっています。麦の栽培にあたっては、次の表1を目標とし、高品質の麦を生産しましょう。

表1

ビール大麦の品質目標
- ① 上位等級（1、2等）での出荷
- ② 発芽勢 98％以上
- ③ 水分 12.0％以下
- ④ 蛋白質含有率 10.0～11.0％
- ⑤ 整粒歩合（2.5㎜篩）95％以上

小麦の品質目標
○日本めん用（さとのそら）
- ① 容積重 840ｇ／ℓ以上
- ② 蛋白質含有率 9.5～10.5％
- ③ 水分 12.5％以下

○パン・中華麺用（ゆめかおり）
- ① 容積重 833ｇ／ℓ以上
- ② 蛋白質含有率 13％以上
- ③ 水分 12.5％以下

水稲

イネ縞葉枯病収穫後の対策

イネ縞葉枯病は感染すると葉及び葉鞘に黄緑色または黄白色の縞状の病斑を生じ、発病株は生育不良となり、葉は細くなり巻いたまま垂れ下がり枯れてしまいます。（ゆうれい症状）。また、穂の出すくみ、不稔が発生し減収します。

収穫後は感染した株から伸びる再生稲（ひこばえ）を放置せず、速やかに耕起して発病株を鋤きこんで下さい。

また、今年度発生が多かった圃場は、被害を受けにくい品種（とちぎの星、あさひの夢等）の作付を検討しましょう。

水稲作付け品種を変更するときの注意点

次年度にコシヒカリからあさひの夢など、作付品種の変更を検討している場合は、今年の収穫時に圃場に落ちた籾が、翌年成長して収穫物に混ざり、「異品種混入」と指摘される可能性があります。

漏生稲の発生を防ぐためには、①収穫後、速やかに耕起し発芽を促し、冬の寒さで枯死させるほか、腐熟させて発芽能力を失わせる。②春には早めの荒代かきを行い、発芽を促し植代で鋤きこむなどの作業が必要です。

縞葉枯病による再生稲の黄化

生育初期の発病：ゆうれい症状

生育初期の発病：出すくみ
（県農業環境指導センター）

『青壮年の記』
～Youth & Middle～
ユース＆ミドル

活動紹介

国本支部

毎年交流会や学習会、地元のお祭等、ポリシーブックに基づいて、農業経営力の向上や地元農畜産物・青壮年部活動のPRに積極的に取り組んできました。

今年度は感染対策を徹底した上で、5月11日に国本西小の学校農園で全児童67人のほか保護者も参加し、親子での田植え体験活動を行いました。

消費減・転換拡大等、米穀に対し厳しい情勢ではありますが、幅広い消費者に農業への関心を抱いてもらうような魅力ある活動を展開していきます。

児童の田植えを見守る国本支部の盟友

園児にサツマイモの苗植えを教える上河内支部の盟友

上河内支部

野田勇一支部長を筆頭に、盟友40人で活動しています。今年度はさまざまな制限がある中、6月10日にゆずのこ保育園の園児たちを招待し、塩原克彦副支部長の圃場でさつまいも苗の定植体験を実施しました。園児たちはとても楽しそうに苗を植えました。さつまいもは順調に生育し、10月下旬に園児たちと芋掘りをしました。

今後も地域の農業に貢献し、更なる発展を目指して活動していきます。

青壮年部全体（本部）

コロナ対策を徹底しながら物資支援やペットボトルキャップ回収運動などに注力しました。

物資支援活動では、昭和こども食堂やフードバンクうつのみや、もってけ市へ農畜産物や日用品の提供を計4回行いました。感謝の言葉をいただくとともに、長引くコロナで支援需要が増加している現状も見えてきました。地域貢献の一助を担う青壮年部として、今後も支援強化に取り組んでいきます。

女性会と連携したペットボトルキャップ回収運動では、青壮年部だけで計30kg超回収することができました。今年度あと2回の回収運動でも、SDGs活動に協力していきます。

昭和こども食堂にスイカを寄贈する黒崎浩史部長

ペットボトルキャップを計量する吉田昌史副部長

随時盟友募集中

青壮年部活動に興味のある方、一緒に活動をしてみたい方は、最寄りの営農経済センターまたは営農企画課（☎028-625-3388）へお問い合わせください。

ワンプレート　レシピ

One plate recipe

シェフ永井のおすすめ

Chef Nagai's recommended recipe

栗のメンチカツ

材料(2人分)

豚ひき肉……120g

A
- タマネギ(みじん切りをしてさっと炒めたもの)……1/4個分
- 塩……1g
- こしょう……少々
- ナツメグ……少々

ゆで栗……4個
薄力粉……適宜
溶き卵……1個分
パン粉……適宜
サラダ油……適宜
レタス……適宜
お好みの調味料(ソース、しょうゆなど)……適宜

作り方

❶ボウルにひき肉とAを入れ、粘りが出るまでよく混ぜ合わせる。

❷❶を4等分に分け、1つずつゆで栗を入れ成形し、薄力粉、溶き卵、パン粉を順に付ける。

❸フライパンにサラダ油を熱し、❷を170度で4分揚げ、油から引き上げる。バットで3分休ませた後、油の温度を180度に上げ、2分揚げる。

❹皿にレタスを敷き、半分に切った❸を盛り付ける。お好みの調味料を掛けて出来上がり。

茨城県笠間市にある
天晴(旧キッチン晴人)
オーナーシェフ
永井(ながい)　智一(ともかず)

今月の直売所情報

南河内グリーンセンターの11月のお薦め品

新鮮野菜
生産者直納品

下野市産地銘柄の
ホウレンソウ・ブロッコリー

11/1～3/31の期間下記のとおり営業時間が冬時間に変更となります。

店舗	開店時間	閉店時間	定休日
JAグリーンインターパーク直売所	午前9時	午後4時	第2火曜日

お米の特売日

新米はJA直売所で!!

JAうつのみや　お薦めのみやおとめ(コシヒカリ)をお買い得価格にて販売します!!

●JAグリーンインターパーク直売所
毎月第3日曜日(11/21)

●JAグリーンかみかわち直売所
毎月8の付く日(11/8、18、28)

南河内グリーンセンター
生産者さん募集!!

詳しくは南河内営農経済センター
TEL：0285-48-2215
営農課　森田・上野まで

アグリジャンプ 2021年11月号 No.284
【編集・発行】JAうつのみや 総務課組合員広報係 TEL028(625)3380 FAX028(627)3307
〒320-0031 宇都宮市戸祭元町3-10
E-mail soumuka@jau.or.jp
JAうつのみや 検索

東部営農経済センター だより

各支所の活動や地域の情報をお届けします!

東部営農経済センター店舗紹介

東部営農経済センターは、平出工業団地北東で新4号線沿いに位置し、農業機械課と同じ敷地内にあります。お客様が気持ち良くご利用いただけるよう事業展開をしています。

近頃、コロナ禍での外出自粛により当センターでは家庭菜園の資材が売れ行き好調となっています。なかでも種まきに便利な培土げんきくん2号や、ほ場に施す栃木そさい新2号は、家庭菜園初心者でも扱い易く好評を得ています。季節に応じた野菜の種子も豊富に取り揃えておりますので、お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。センター職員19名が皆さま方のお越しをお待ちしております。

皆さま方のご来店をお待ちしています。

人気商品(げんきくん2号、栃木そさい新2号)

共同乾燥調製施設の紹介

当センター管内には3つの共同乾燥調製施設があり、農業者の高齢化や後継者不足による労働負担を軽減する目的も含め、多くの組合員の皆さま方にご利用をいただいております。

豊郷カントリーエレベーター、東部地区カントリーエレベーターでは、9月から主食用米(コシヒカリ・あさひの夢)と飼料用米での稼働。また、東部地区カントリーエレベーターのみ6月に二条大麦の荷受けを行いました。そして、大豆に特化した豊郷大豆共同乾燥施設は毎年11月中旬より稼働し、各施設の運営委員会のご協力を得ながら稼働しています。

豊郷カントリーエレベーター

東部地区カントリーエレベーター

豊郷大豆共同乾燥調製施設

各種お問い合わせはこちらへ

支所・センター電話番号

中央支所	028-633-3467	南河内支所	0285-48-2211
宝木出張所	028-622-6111	上三川支所	0285-55-1510
平石支所	028-661-4311	宇都宮北部営農経済センター	028-665-0550
南部支所	028-656-1020	宇都宮西部営農経済センター	028-658-6565
城山支所	028-652-0711	宇都宮南部営農経済センター	028-656-8484
北部支所	028-665-0003	宇都宮東部営農経済センター	028-660-3535
豊郷支所	028-624-8011	上河内営農経済センター	028-674-2164
清原支所	028-667-0151	河内営農経済センター	028-673-6911
姿川支所	028-658-6881	南河内営農経済センター	0285-48-2215
上河内支所	028-674-3333	上三川営農経済センター	0285-55-1511
河内支所	028-673-3135		

キャッシュカードの紛失・盗難
フリーダイヤル0120−082065

夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)
事故受付センター フリーダイヤル0120−258931

JA葬祭(24時間受付)
アトラス宇都宮ホール 028−660−5555
アトラスファミリーホール鶴田 028−633−9200
アトラス上三川ホール 0285−55−1555

LPガス関係 灯油・軽油・A重油の配送
フリーコール 0800−700−0085(通話無料)
※緊急連絡先028−633−0085